

広く大きく広がる瑠璃色の中

眩い光が一筋

まっすぐにまっすぐに

人々のハートの中に

その光こそ「神聖なる愛」

その愛は全てにふり注がれていた。

暖かな陽の光、頬をなぜる優しい風

生きるものに命の水となるその雨

真っ白く真っ白く世界をおおうその雪にも

その「神聖なる愛」のもと

全ては生かされ愛されてきた

今、自らのハートに注がれたその光から

「神聖なる愛」を全てのものに贈る時

この地球に生をうけてから

ずっと注がれてきた

母神からの「神聖なる愛」を

自らのハートから輝く光として

人々に届けよう、その愛は

生きとし生けるもの全てのもの

全ての人々がハートから愛の光を

輝かせる神聖なこの日に

神聖なる愛の光で地球は輝くことができる。

香